

中部を拠点に観光振興、北陸復興支援へ

主催 3 団体特別鼎談 (13面から続く)



今年のツーリズムEXPOジャパンのポスターをバックに

——今年のツーリズムEXPOジャパンの概要や見どころについて。高橋 11回目にして初の中部での開催。北陸も含めて9県を連携する「広域連携」での開催だ。大きく4つの目的を掲げている。第1に、このエリアにまだ眠っている隠れた魅力を国内外に発信すること。第2に、セントレア(中部国際空港)の国際線復活を後押しすること。第3に、北陸をエリアに加えることで、被災地の復興を支援し続けるというメッセージを発信すること。そして第4に、BtoBの商談をさらに充実させることだ。

来場者に向けて空港の認知度を高め、新たな日本の玄関口として活用いただくことが大きな目標だ。インバウンド4千万人時代、さらにその先を見据え、成田、羽田、関空以外の国際空港をもっと活用することが必要不可欠だ。その意味でセントレアは非常に重要な拠点となる。今回は海外からのバイヤーにも、商談だけでなく、会場内のブースを巡るツアーに参加していただく。産

観光で日本の良いものに触れてもらい、帰国後も日本の製品を買っていただけたらいい。ツーリズムEXPOジャパンがそうした日本の「ショールーム」としての役割を果たせればとも考えている。高橋 海外からは80の国と地域が参加し、小間数で言うと400小間を超えている。これは、日本の海外旅行市場に対する海外からの熱い期待の表れだ。一方で、地元への愛知、中

る地元の皆さまの強い思いを感じており、われわれはその期待に応えなければいけない。名称に北陸が入っていることに強いメッセージ性を感じる。最明 「被災地を忘れない」というメッセージを発信し続けることが大事だ。富山、金沢、福井などほにざいを取り戻しているが、能登半島はまだまだこれから。復興につながるようなメッセージをしっかり

事前にツーリズムEXPOジャパンのブースを訪れ、いろいろと学習してもらう機会をつくり、その上で現地を訪問いただくという取り組みも行う。国内インバウンド、アウトバウンドの振興、そして観光産業と地域の持続可能な発展に向けての各団体の重点的な取り組みをお聞きたい。高橋 われわれ旅行業界としては、やはり回復が最

国内旅行も同様に、ジブリパークや高山といった有名な観光地だけでなく、まだ知られていないエリアを知ってもらい、その活性化が図ればと考えている。余談だが、会場である愛知スカイエキスポの1日当たりの過去最高動員記録は、B、Zのコンサートで3万3千人だそう。われわれは2日連続でこれに挑戦することになる。岩田剛典さんや、愛知県出身で俳優の瀬戸朝香さんのトーク

を、むしろ地域住民の方々に観光の現状や効果を理解していただくためのツールとして活用することも考えている。「人材育成」「観光DXのサポート」「観光地域づくり」の3本柱で、持続可能な観光地経営を支援する。今回のツーリズムEXPOジャパンでも、観光DXや、災害時にも事業を継続するための「フェーズフリー」という考え方をテーマにしたセミナーを開催しよう。今、準備を進めているところだ。

高橋 EXPO内で行うインバウンドシンポジウムを成功させたいと考えているが、個人的に非常に期待しているのが、その後開催される「休み方改革シンポジウム」。働き方、そして休み方が変わることは、日本の観光の現状を変える大きなきっかけになるはずだ。

観光需要の平準化という観点からインバウンドが注目されているが、日本人自身ももっと自由に国内外を旅行できるような労働環境も必要だ。今回のシンポジウムはよく言われる「働き方改革」ではなく、「休み方改革」としている点が特徴だ。

北陸の復興においても、インバウンドの役割が非常に重要だ。かつて台湾から多くのお客さまが来たように、北陸には高いポテンシャルがある。「昇龍道」のようなコンセプトで、中部・北陸エリアが一体的なゾーンとして再び注目されるような仕掛けも必要だろう。

今回は東京、大阪から距離があるため、送客側の事業者が多い両都市圏からどれだけの人が来ていただけたか。これが成功の一つの鍵だと思っている。私もさまざまな場で情報発信をし、多くの方々に来ていただくよう、努力したい。最明 今回のツーリズムEXPOジャパンは、「休み方改革」という大きな流れを作ろうとしている愛知県の大村秀章知事が、同県での開催に向けてかなりの力を込めて進めてくれたのだ。われわれはしっかりと応えていかねばならない。

愛知、中部・北陸の皆さまと協力して、成功に向けて尽力したい。

中部・北陸の潜在魅力を発信 セントレアを新たな玄関口に 休み方改革で観光の姿変わる

最明

高橋

蒲生

部、北陸からの出展も50小間を超えている。ゴールデンルート上にあるが、スキャンされがちな古く、新たな発見やビジネスチャンスが生まれることを期待している。

——JNTOはツーリズムEXPOジャパンとの合同開催として、訪日旅行商談会「VISIT JAPAN」を今年も開催する。蒲生 3日間全てに人を配置するのは、特に地方の団体や自治体にはハードルが高いだろうと、今回は3日間のフル出展だけでなく、1・5日間の枠を新たに設けた。

また、海外のバイヤー向けに、中部・北陸地域を中心とした12コースのファミリーツアーを用意している。

——「休み方改革」で日本の観光を変える」といったインパクトのあるテーマを掲げたシンポジウムも開催する。

観光業界全体が盛り上がるきっかけになるよう、このツーリズムEXPOジャパンを成功に導きたい。そして開催に当たり協力をいただいた愛知県をはじめ、地元の方々には心から感謝を申し上げます。この成功をもって、皆さまへの感謝をしっかりと伝えていきたいと思います。

最明 会員企業や団体の皆さまに、ぜひ足を運んでいただき、出展者のコミュニケーションを深め、新たな商品造成のヒントをかんではいただきたいと思います。

——「休み方改革」で日本の観光を変える」といったインパクトのあるテーマを掲げたシンポジウムも開催する。

観光業界全体が盛り上がるきっかけになるよう、このツーリズムEXPOジャパンを成功に導きたい。そして開催に当たり協力をいただいた愛知県をはじめ、地元の方々には心から感謝を申し上げます。この成功をもって、皆さまへの感謝をしっかりと伝えていきたいと思います。

最明 会員企業や団体の皆さまに、ぜひ足を運んでいただき、出展者のコミュニケーションを深め、新たな商品造成のヒントをかんではいただきたいと思います。

——「休み方改革」で日本の観光を変える」といったインパクトのあるテーマを掲げたシンポジウムも開催する。

商談機会が一層充実 商品造成のヒントを 地元と協力し成功へ

高橋
最明
蒲生

今回は東京、大阪から距離があるため、送客側の事業者が多い両都市圏からどれだけの人が来ていただけたか。これが成功の一つの鍵だと思っている。私もさまざまな場で情報発信をし、多くの方々に来ていただくよう、努力したい。

最明 今回のツーリズムEXPOジャパンは、「休み方改革」という大きな流れを作ろうとしている愛知県の大村秀章知事が、同県での開催に向けてかなりの力を込めて進めてくれたのだ。われわれはしっかりと応えていかねばならない。

愛知、中部・北陸の皆さまと協力して、成功に向けて尽力したい。

——「休み方改革」で日本の観光を変える」といったインパクトのあるテーマを掲げたシンポジウムも開催する。

観光業界全体が盛り上がるきっかけになるよう、このツーリズムEXPOジャパンを成功に導きたい。そして開催に当たり協力をいただいた愛知県をはじめ、地元の方々には心から感謝を申し上げます。この成功をもって、皆さまへの感謝をしっかりと伝えていきたいと思います。

最明 会員企業や団体の皆さまに、ぜひ足を運んでいただき、出展者のコミュニケーションを深め、新たな商品造成のヒントをかんではいただきたいと思います。

日本旅行ブース E120、E117
展示ホール E

2025年9月25日～28日
Aichi Sky Expo (愛知県国際展示場)

ありがとう!もっともっと!つながる未来へ

120th ANNIVERSARY

日本旅行
THANKS MORE CONNECTED FUTURE

日本旅行は、今年創業から 120 年を迎えます。

たくさんのお客様に支えられた 120 年。私たちは、120 年分の感謝の気持ちと、これから先の未来もずっと、お客様に「ありがとう」を伝え続けたい。「人」と「地域」、「自然」、「文化」をつなげてお客様とともに、笑顔が広がる「もっともっとつながる未来」をつくりたい。この思いを胸に、私たちは歩み続けます。

ツーリズム EXPO ジャパン

JTBはツーリズムEXPOジャパン2025に出展します。
ぜひ展示ホールE E-001にお越しください。

地球を感動で、つなぐ。

JTB
感動のそばに、いつも。